

【獣医師】

◎主な配属先、業務内容

■本庁

医薬食品・衛生課



- 食品衛生に関する業務
- 動物愛護や狂犬病予防に関する業務

中山間農業・畜産課

- 家畜衛生に関する業務
- 動物薬事や獣医事に関する業務



健康福祉センター



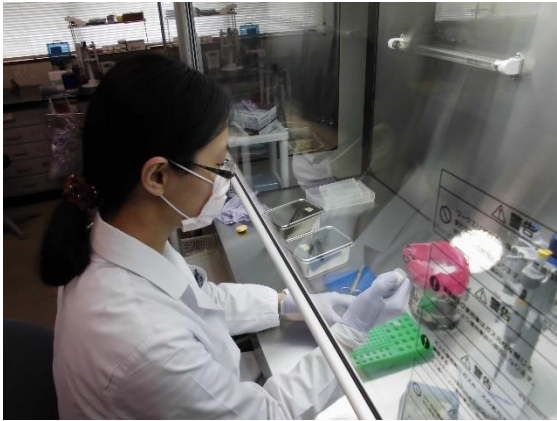
- 飲食店等の営業者に衛生指導
- 講習会等を実施し、食中毒予防のための普及啓発(食中毒が発生した場合は、その原因究明)
- ペットショップなど動物を取り扱う施設へ立入し、動物が適正に管理されているか等を確認
- 市町と連携し、飼い犬の登録や狂犬病予防注射を実施するよう飼い主に指導

動物愛護センター

- 動物の保護収容、返還、譲渡、収容動物の不妊去勢手術のほか、譲渡会、しつけ教室等を実施し、動物の適正飼養や動物愛護の普及啓発
- 動物愛護管理推進協議会や研修会等を開催し、県の動物愛護管理を推進



衛生環境研究センター



- 食品の病原細菌や動物由来感染症に関する試験研究

家畜保健衛生所

- 家畜の病気の予防、診断や伝染病のまん延防止
- 畜産農家の生産性向上や安全安心な畜産物生産のための技術指導
- 農家が飼育する雌牛への受精卵移植



畜産試験場



- 「若狭牛」、「ふくいポーク」や「福地鶏」等の県産ブランド畜産物の生産拡大に関する試験研究
- 飼料用米の利用によるコスト低減等、生産性向上のための技術開発や普及促進に取り組み、県内畜産農家の経営安定を支援
- 畜産情報の発信、教育・ふれあいの場として研修や体験学習を実施

奥越高原牧場



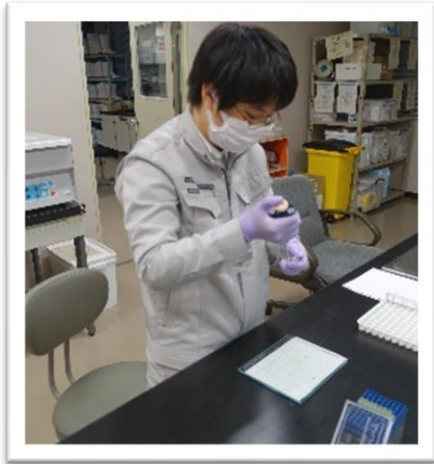
- 県内の酪農家で生まれた子牛を育成し、広大な放牧地で足腰の強い健康な牛を育成
- 酪農家の所得向上のため、より高品質で乳量が期待できる高泌乳牛の受精卵移植を行い、妊娠させてから農家に戻す

嶺南牧場

- 優良な血統の繁殖和牛を飼育し、生まれた雌子牛を「若狭牛の母牛」として県内農家に供給
- 受精卵を供給するなどし、若狭牛生産拡大に取り組む



【獣医師】令和2年度採用



家畜保健衛生所

池田 知嘉子

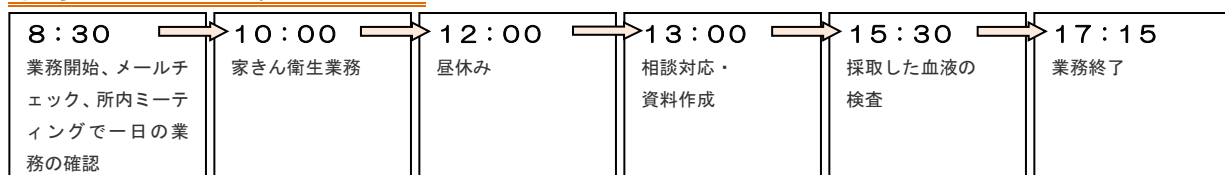
(日本大学 生物資源科学部獣医学科 卒業)



【主な担当業務】

- ・鶏の伝染病予防
(定期的な巡回指導やニューカッスル病等の検査)
- ・豚の伝染病予防
(定期的な巡回指導や豚熱のワクチン接種、豚熱のワクチン抗体付与状況検査、オーエスキー病等の検査)

◎ある一日のスケジュール



◎福井県職員を志望した理由

福井県が**県民幸福度1位**かつ、**全国住みやすい都道府県2位**であると知り、**そんな福井県に住んで、獣医師として貢献したい**と思ったからです。

◎仕事をはじめて感じていること

家畜保健衛生所保健衛生課は家畜伝染病予防を主とした業務内容で、そのために**畜産農家や畜産関係者の人に直接お会いして話し合う**ことがほとんどです。話す機会がある度に、**県の畜産業に直に関わっている責任**を強く感じます。

◎魅力・やりがい

自分が今携わっている業務は、**県の畜産業を守るもの**です。そのために国で定められた法律等に則り農家を指導するのですが、**ただ指導するだけでなく、農家と話し合っ、それぞれの農場にとってより良い防疫体制を共に考えていく**ことです。また業務を通じて、**県の畜産業に貢献している**ことが実感でき、やりがいにつながります。

◎採用試験対策

教養試験では、大学の公務員講座で使ったテキストと、市販の時事問題の参考書を見て勉強しました。専門試験は、国家試験の勉強でよく使った資料を利用しました。また、面接試験対策として、面接講座に何度も通い、所作や受け答えを身に着けました。

◎後輩たちへ一言

県職員獣医師は、**家畜伝染病予防から動物愛護、食品衛生や環境衛生など、幅広いジャンルに携われます**。そのどれもが県民の皆さんの生活に直結するもので、**大学で学んだことを活かして貢献**することができ、さらに現場で、畜産や農業に関わる多くの知識や技術を学ぶことができます。

私は家畜保健衛生所に勤務して2年目で経験は少ないですが、それでも日々得られることは多いです。**業務を通じて、県も自分自身も豊かにしてくれる大変魅力的な職種**なので、**ぜひ県職員として働くことをご一考いただけたら嬉しいです！**